

自分自身を見つめなおす

令和6年10月8日（火）

10月3～4日に、1年生は曹洞宗大本山永平寺へ坐禅研修に行ってきました。コロナ禍の影響で、日帰りの研修が続いていましたが、5年ぶりとなる1泊2日の研修です。

永平寺では、全てが修行です。「只管打坐」背筋を伸ばしてただひたすら坐禅に取り組み、自分自身に向き合い、薬石（夕食）や小食（朝食）では、作法に則り一つ一つの食材に感謝の気持ちをもってゆっくり味わいました。朝課（朝の読経）では、僧の方々の一糸乱れぬ迫力ある読経に圧倒されながらも、見よう見真似で懸命にお経を唱えました。

西田副監院からは、「行を迷中に立て証を覚前に獲る」という言葉を教えていただきました。これからの学校生活でも生徒たちは幾度となく悩み、迷うことがあると思います。しかし、そうした迷いの中でも、自分自身が喜び、幸せになる道を模索し行動してほしいと思います。

永平寺坐禅研修では、その他にも福井県立恐竜博物館を見学したり、ゆのくにの森で皿に絵付け体験をしたりしました。

今回の研修では、普段の学校生活とは違った緊張感を持ちながら生活をし、自分自身を見つめなおすよい機会となりました。それぞれの心にまかれた種が、芽をだし、多くの実を結び、生徒たちのこれからの人生の中で心を動かし、救うようなものとなればと願います。



【出発式 いってきます！】



【九谷満月で昼食】



【福井県立恐竜博物館 迫力満点の恐竜の骨格標本】





【坐禅の姿勢を確認】



【心を整えて坐禅】



【合掌】



【五観の偈を唱えていただきます】



【蒲団作務も修行の一つ】



【永平寺内を見学】



【ゆのくにの森で絵付け体験】

